

研究主題

豊かに生きる力の育成  
～自分を知ることから始めるキャリア教育の実践～

1 主題名 『すすんでみんなのために働こう』 勤労、公共の精神(C 主として集団や社会に関すること)  
《キャリア教育の視点》

- ・友達との話合いや聴きあいを通して自分の思いや考えを広げたり深めたりできるようにする力【人間関係形成・社会形成能力】
- ・自分の役割を振り返り、すすんでみんなのために働こうとする力。【キャリアプランニング能力】【自己理解・自己管理能力】

2 教材名 「教えて！なんでも相談室」

3 主題設定の理由

(1) 授業者の価値観

働くことは、喜びやみんなのために役立つことができるという生きがいと充足感を味わうことができる。他者のために行動したことで、「ありがとう」と感謝され、喜ばれたときには、自分も同じように嬉しく感じたり、次もまた人のために役立つと前向きに考えたりすることができる。

一方で、働くことは面倒くさくて、できるなら避けたいと考える人も多い。文部省によると15～34歳の非労働力人口（就業、就学、職業訓練をしていない、いわゆるニート）は、2002年より大きく増加し依然として高い水準にある。このような時代だからこそ、働くことのよさや大切さを考える意義は大きいと考える。

(2) 児童観

学校では、掃除や係活動など働く機会が多い。本学級の多くの児童は、学校で友達を喜ばせたり、楽しませたりしたいと考える児童が多い。係活動では、それぞれがやりたい活動を自分で選び、工夫して取り組む姿が見られる。掃除や係活動の反省会では、自分や友達が一生懸命取り組んだ姿をお互いに褒め合い、その良さを感じているようである。このように、働くことがみんなのためになることを理解し、その楽しさや喜びを感じる児童がいる一方で、働くことを負担に感じたり、面倒に思ったりする児童もいる。自分がやりたいと思ったことには一生懸命に取り組むが、やらねばならないことに対して億劫に感じてしまう姿も見られる。

本時では、実際に働く場面を設定し、決められたこと以上のことを学校のために取り組む必要の是非を話し合い、自分の生活や役割を振り返りながら他者のためにすすんで働くことのよさを考えさせていきたい。

(3) 教材観

本教材は、学校新聞に寄せられた相談の答えを書いて、それを基に話し合うというこれまでにない新しいスタイルの教材である。授業では、相談に対する答えに表現された児童の考えを話し合うことに重点を置きたい。割り当てられた場所の草取りを一生懸命取り組んで早く終えた場合、余った時間を他の場所の草取りに回すか、それとも自由時間にするか、多様な意見が予想される。話し合いの時間を十分にとり、一人一人が自分の意見を持ち、意見交換をすることでねらいとする道徳的価値についての理解を深めたい。

4 本主題とキャリア教育との関係



将来を  
かんがえる力



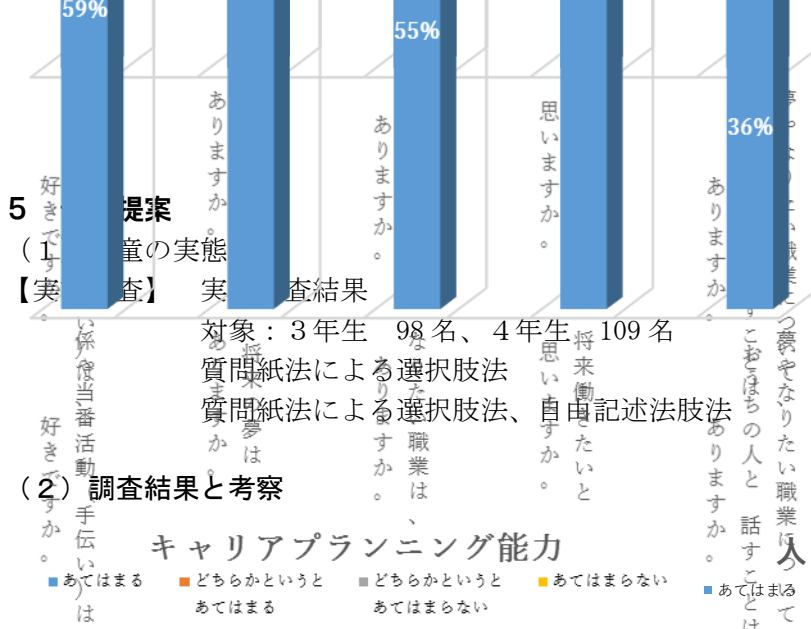
自分を  
みつめる力



人や社会と  
かかわる力

内容項目は、勤労、公共の精神であり、働くことの大切さを知り、みんなのためにすすんで働こうとする態度を育てることをねらいとする。これは、働くことの意義を理解させるというキャリアプランニング能力に直結していると考えられる。また、学校生活のなかでの様々な立場や役割を意識し、自分ができることを考え、すすんで行動しようとする力も身に付けさせていきたい。(自己理解・自己管理能力)

教材「教えて！なんでも相談室」は、話合いに重点を置いた教材である。友達との考えの違いに気づき、二つの考えについて深く話し合う活動を通して、自分の考えを話したり、他者の意見を聞いたりする力を身に付けさせていきたい。(人間関係形成能力・社会形成能力)

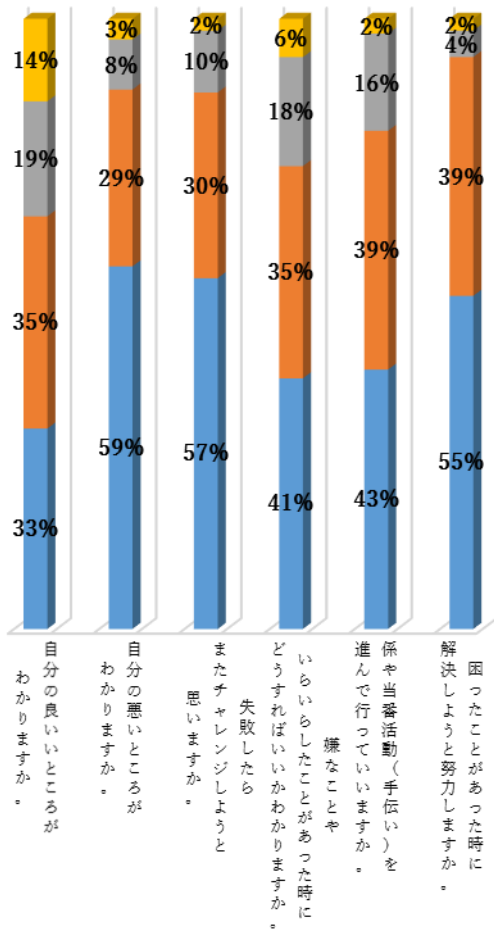


「キャリアプランニング能力」に関する質問では、「係や当番活動(手伝い)は好きですか」という設問に92%の児童が肯定的な回答をしている。しかし、自己理解・自己管理能力における「係や当番活動(手伝い)をすすんで行っていますか」という設問では82%と割合が下がる。このことから、働く意義を理解しているように指導する必要があると考えられる。

「人間関係形成能力・社会形成能力」に関する質問では、「友達(相手)の話を聞いて理解しようとしていますか」という設問に98%の児童が肯定的な回答をしている。一方、「自分が伝えたいことを友達(相手)に正しく伝えることはできますか」という設問では肯定的な回答が85%と割合が下がっている。受容的態度が培われているが、意思伝達力に課題があることが伺える。否定的な回答をした児童の記述内容からは「伝え方がわからない」「説明が苦手」という回答が多くあることから、教科・領域で意思伝達力を付けられるように指導していく必要がある。

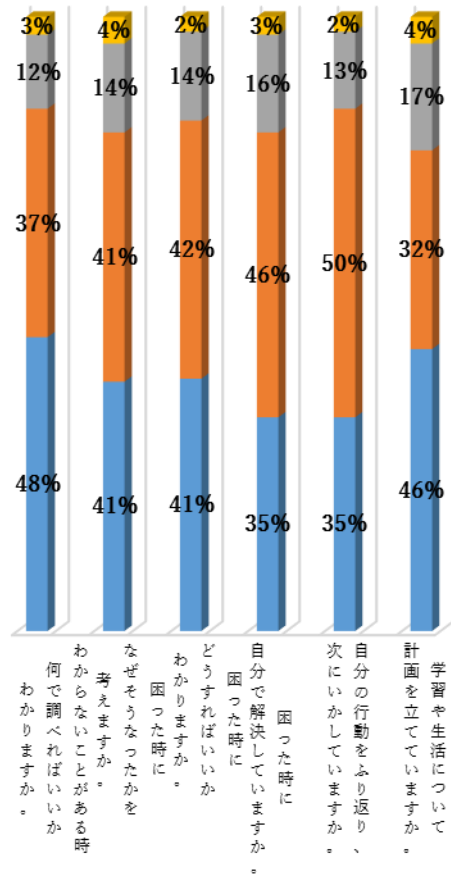
## 自己理解・自己管理能力

■あてはまる ■どちらかというと ■どちらかというと ■あてはまらない  
あてはまる あてはまらない



## 課題対応能力

■あてはまる ■どちらかというと ■どちらかというと ■あてはまらない  
あてはまる あてはまらない



「自己理解・自己管理能力」に関する質問では、「自分のよいところがわかりますか」という設問で、肯定的な回答が68%と大きく割合が減っていた。否定的な選択をした児童による記述内容からは、「自分のよいところがわからない」という回答が最も多かった。しかし、構成的グループエンカウンターを行ったことで「授業で見つけることができた」という回答数も一定数おり、続けていくことで自分を肯定的に理解できる手立ての一つになると考えられる。

「課題対応能力」に関する質問では、「困った時に自分で解決していますか」という設問の肯定的な割合が81%と、他の設問に比べやや低かった。否定的な選択をした児童による記述内容からは、「どうすればいいかわからない」「人に頼ってしまうから」という回答が多かった。また、「学習や生活について計画を立てていますか」という設問の肯定的な回答が78%と一番低い割合であった。このことから、課題が明確に見えていないことや、解決までの道筋を立てることに課題があると考えられる。課題発見能力、論理的思考力を付けるための指導を重点的に行っていく必要がある。

## 6 目指す児童像

# 自分の「すてき」を役割の中で生かせる子供

### (3) 目指す児童像に迫るための手だて

#### 【手だて1】: 自分の「すてき」を見付けるために

##### ○ ソーシャルスキルトレーニング (SST) ・エンカウンターの日常的な取組

SSTは、社会生活技能訓練ともよばれ、社会で人と人とが関わりながら生きていくために必要なトレーニングのことを指す。エンカウンターとは、集団学習体験を通して、自己発見による行動の変容と人間的な自己成長をねらい、親密な人間関係づくりを援助するための手法である。どちらも、自己理解を進め、よりよい人間関係づくりを目指すものとして学級作りに効果的であるとされる。

自分の「すてき」を見付けるには、「自分で気付く」「他者から教えてもらう」の両面があると考えた。そのために①SSTを通して自己理解を深めたりスキルアップしたりした自分が、②グループエンカウンターを通して友好的な人間関係を築いていく。このスパイラルを通して、自己理解を進められるようにしたい。

※SST (例) 上手に断るトレーニング

※グループエンカウンター (例) 「まちがいさがし」「友達ビンゴ」

#### 【手だて2】: 自分の「すてき」を役割の中で生かすために

##### ○ 充実した話し合い活動の工夫と発問の精選

発問に対して考えをもてた児童から起立し、ペアやトリオで伝え合ったら着席する活動を取り入れる。課題に対して全員が自分の考えをもてた上で、話し合い活動に入れるようにする。

また、相互指名による発表の場を設ける。そこで広がった意見を教師は板書に構造的に示すことで、異なる考えや葛藤場面を明確にし、視点がぶれずに話し合い活動が進むようにする。(充実した話し合い活動の工夫)

本時では「自由時間にしてよい」「他の場所の草取りを続けるべき」と大きく2種類の対極する考えが予想される。ここで、後者の「草取りを続けるべき」と考えた理由を問うことで、思考を深めさせたい。それぞれの立場に立って考えさせる活動ではなく、あえて後者に焦点を絞った発問にすることで、本時の価値項目である「進んで働くよさ」に迫ることができると考えた。(発問の精選)

担っている「役割」について、自分はどのように向き合っているか、これからどのように取り組んでいきたいかを記述し、道徳的実践力につながるようにする。そして、「役割」があることのよさについても触れることで、役割の必要性に気付かせるとともに、係や当番活動に積極的に関わろうとする素地を育てたい。

##### ○ 学習のまとめと振り返りの評価の工夫

研究の視点に沿った振り返りができるよう、ワークシートを工夫した。毎時間、以下の4つの項目について振り返られるようにする。

①自分を見つめ、自分のことが分かった。(自己理解・自己管理能力)「自分をみつめる力」

②友達と話し合い、色々な考えや思いを知った。(人間関係形成・社会形成能力)「人や社会とかかわる力」

③これからの自分の役割について考えた。(キャリアプランニング能力)「将来をかんがえる力」

④テーマに対して自分の考えをもった。(課題対応能力)「課題をやりぬく力」

## 7 本時の学習

### (1) ねらい

働くことの大切さを理解し、みんなのためにすすんで働こうとする態度を育てる。

### (2) 展開

段階	学習活動	教材, 教具, 学習形態	指導・支援 (○) 評価 (●)
3分	<p>1 主題について自分の考えをもつ。</p> <p>○どんな気持ちで当番や仕事をしていますか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない。</li> <li>・係活動をして友達に喜ばれてうれしい。</li> <li>・喜んでもらえるかな。</li> <li>・めんどろだな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア→全体</li> </ul>	<p>○今までの学校での活動を想起させる。(当番、掃除など)</p> <p>○考えを深めるため、考えをもてた児童を中心にペアで話し合わせる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>みんなのためにすすんで働くことの大切さについて考えよう。</p> </div>			
7分	<p>2 教材を読んで話し合う。</p> <p>○新聞委員会の上級生になって、質問への回答を考え、ワークシートに書きましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早く終わったら、他を手伝いましょう。</li> <li>・時間が終わるまでやるのが仕事です。</li> <li>・自分の仕事が終われば終わりにしていい。</li> <li>・頑張ったのだから休んでもいいのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材提示の場面絵</li> <li>・個人</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<p>○教材提示をし、相談内容とともにどんな活動をするのかを理解できるようにする。</p> <p>○考えを書くことが苦手な児童に対して個別に声を掛ける。</p> <p>○机間指導をしながら、だれがどんなことを書いているか把握し、意図的指名に生かす。</p>
7分	<p>○書いた回答を話し合ひましよう。みんなの発表を聞いて、どんなことを考えましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やるべきことはやったのだから、もう自由時間でよいのでは。</li> <li>→本当にやるべきことはやったのか。</li> <li>・頑張って早く終わらせた意味がないから。</li> <li>→本当に意味がない？何のためにやるのか？</li> <li>・まだ働いている人がいるのに自分たちだけ遊んでいてもいいのかな。</li> <li>→自分たちだけ遊んでいたら悪いな。</li> <li>・プールのまわりの草取りもしたら、もつときれいになるよ。</li> <li>・時間まで自分のできることをしよう、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体(意図的指名)</li> </ul>	<p>●多様な考えや理由に気付き、それを基に自分の考えを見直してよりよいものにしようとしている。</p> <p>○児童の意見を板書に整理して考えの違いを明確にする。</p> <p>○広い意見が出なかった場合は、教師が声を掛けや補助発問をして、異なる考えがでるようになる。</p> <p>○自分の損得だけで考えるとすっきりしない気持ちが残ることを押さえる。</p>
10分	<p>◎プールのまわりの草取りをしようとした気持ちや思いを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「草取り」の時間はまだあるから。</li> <li>→目的を忘れてはいけない</li> <li>・みんなで協力したほうがいいから。</li> <li>→達成感がある。喜んでもらえる嬉しさ。</li> <li>・自分たちだけ遊んでいたら悪いから。</li> <li>→自分にもできることがあるはず。それを探すべき。</li> <li>・学校がきれいになったらみんなも自分もうれしいから。</li> <li>→大変だけど、みんなはうれしいから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トリオ→全体(相互指名)</li> </ul>	<p>○役割以上のことをすすんで取り組むことのよさを感じ取れるようになる。</p> <p>○働くことはみんなのために役立つことで、喜びと充足感を味わえるものだというを押さえる。</p> <p>◆<u>話し合いや聞き合いを通して考えを広げたり深めたりできるようにする。【人・社】</u></p>

<p>1 3 分</p> <p>5 分</p>	<p>3 今までの自分自身について振り返る。 ○自分の役割を振り返り、今後仕事をする上で大切な思いや考えを書きましょう。 ・すすんで働くことでみんなの役に立てることがわかった。これからは掃除や給食の準備のときに、自分にできる仕事を見つけて取り組みたい。 ・働くことは周りのためにも自分のためにもなる。損をすると思っていたが、得することもあるのではないかと思った。 ・みんなで働くって楽しいと思う。これからも一緒に働きたい。 ○4つの力を高められたか振り返りをしましょう。</p> <p>4 勤労、公共の精神に関わる教師の説話を聞く。</p>	<p>・個人→全体 ・ワークシート (記述・選択肢)</p> <p>・4つの力カード</p>	<p>●これまでの経験を振り返り、自己をしっかりと見つめている学習状況を把握する。 ◆<u>自分の生活や役割を振り返り、働くことのよさを理解できるようにする。【キ】</u> ◆<u>みんなのためにすすんで働くことを考えることができるようにする。【自】</u></p> <p>○児童から出てきた意見を価値付けできるようにする。</p> <p>○身近な学校での児童の姿を話す。</p>
-------------------------------------	--	--	--

## 8 板書計画

第□回 みんなのためにすすんではたらく

教材 「教えて！なんでもそうだん室」

・当番 ・係 ・家での仕事

全校草取り  
がんばったので早くきれいにすることができた。  
↓プールのまわりも草取りをしよう。  
↓早く終わりにしよう。  
どうすればよかったのでしょうか。

みんなの意見

**草取りをする**

- ・草取りの時間はまだあるから。
- ・みんなできょうりよくしたほうがいいから。
- ・自分たちだけ遊んでいたらわるいから。

**終わりにする**

- ・やるべきことはやったから。
- ・がんばって早く終わらせたいみがないから。
- ・がんばった人がそんをするから。

**プールのまわりの草取りをしようとした**

気もちやおもいを考えよう。

- ・みんなで学校をきれいにしたい。
- ・達成感 ・喜んでもらえるから。

## 成果と課題

### 1 成果

#### 【手立て1】 自分の「すてき」を見付けるために

- ・ SST の実践について、アンケートをとって、児童の実態にあった取組をすることができるため効果的だと感じている。2学期から期間をかけて、自己理解が深まるように素地をつくることができている。

#### 【手立て2】 自分の「すてき」を役割の中で生かすために

- ・ 道徳の題材を勤労、公共の精神が主題のものにすることで、日頃の係活動や、当番活動について考えさせることができた。
- ・ 自分自身を振り返り、ワークシートに書くことは、キャリア教育の「自分を見つめる力」につながる為、効果的であった。

### 2 課題

#### 【手立て1】 自分の「すてき」を見付けるために

- ・ 「キャリアプランニング」のアンケートにおいて、内容を見直すべき項目があった。（「係や当番活動は好きですか」、「人に頼ってしまう」は低くても気にする必要はない）

#### 【手立て2】 自分の「すてき」を役割の中で生かすために

- ・ 指導案上では、草抜きをするに賛成、反対の両方の意見を聞きながら授業をすすめていくことで多様な考え方を引き出し、役割について考えさせる授業展開を予定していたが、本時では賛成派の意見が大多数で充実した話し合いができなかった。
- ・ 講師から、道徳の中にキャリア教育を入れ込むには無理があると講評があった。（キャリア教育は正しい意見を教える必要があったり、やる項目がある程度決まっていたりするため）